◆復興支援について◆

そもそも、なぜリブラ太田交流試合で、Ｔシャツや寄付金をつのり、
復興支援を始めたのか？
それはきっかけがあります。

「ただ、ソフトボールをやっているだけというのが嫌だった。
やるんだったら、県外の強いチームと試合をして刺激が欲しかった。
レディースという枠は限られてしまっているので、ソフトボールを通して、
ソフト仲間と交流をもちたかった。」
それをきっかけで、各県の知らないチームに電話をかけ、お願いをした。
これが６年前のリブラ太田交流試合の始まりです。

それから、第２回目のリブラ太田交流試合を開催する直前、５年前に起こった
東日本大震災。私個人的に高校卒業と同時に福島へ住んでいたこともあり、
第２の故郷でした。震災が起きてすぐ現地にボランティアにいって、現実を
見た時、何か自分たちにできないかと思い、「ソフト仲間に声をかけて義援金
集めをしたい。」みんなを巻き込きました。
でも、想いを伝えたらみんな協力してくれて、ここまでやる事ができました。
毎年、毎年良い事もあれば、反省点もでて、次の年はもっと楽しんでもらいたい！
私たちに出来る範囲で、私たち発信でやっていきたい！という気持ちがあり、
今に至ります。

最近、震災の事が薄れてきてしまっています。でも、まだ全然復興していない。
今回は、ソフト仲間を通じて、宮城県某中学校のソフトボール部の監督さん
を紹介してもらい、やりとりをしました。とても被害にあった場所です。
ソフトボール部のメンバーはギリギリ９名でやってて、もちろんまだ仮設住宅
で生活している子もいます。
今回は、その子たちに寄付をしたいと思います。
色んな環境の中でソフトボールを楽しんでいる子たちがいる。その子たちのためにも
今年も義援金のご協力をお願いいたします。

リブラ太田